

# 【石川県】 県土全域の景観形成の指針の策定

眺望景観

広域連携

景観計画の上位計画となる県土全域の景観形成の指針となる総合計画の策定や独自条例による眺望計画を策定することで、広域的な景観づくりを推進。

## 基礎情報

自治体名	石川県
規模	人口：109.7万人 面積：4186.2 km <sup>2</sup>
景観行政団体／景観計画策定	
景観の取組状況	重点地区
	景観重要建築物
	景観重要樹木
	景観重要公共施設
	景観協定
	景観整備機構
	景観協議会
	景観地区等
	屋外広告物条例

## 取組の概要

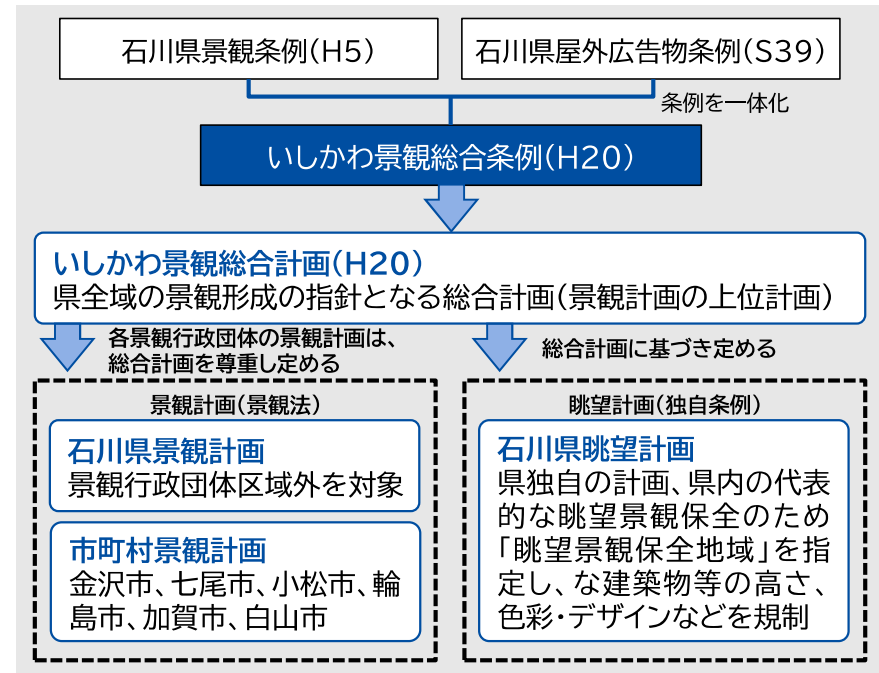
### 県土全域の景観形成の指針となる総合計画を策定

「いしかわ景観総合条例」を策定し、広域的・連続的景観や眺望景観など市町を超えた景観づくりを推進。

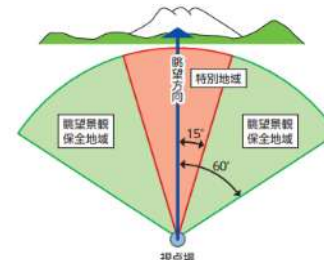
### 独自条例により「石川県眺望計画」を策定、眺望景観保全地域、特別区域を位置づけ、高さを規制する数値基準を規定

眺望景観保全地域のうち、建築物等の高さ等が眺望景観に及ぼす影響の特に大きい地域を「特別地域」とし地域内の建築物等の高さや色彩等を適正に規制・誘導。

## 【広域的な景観づくりに向けた取組】



## 【眺望保全の考え方(白山眺望景観保全地域)】



**眺望景観保全地域の範囲**  
白山山頂を中心とした**左右60°**  
(人間の静視野)として設定

**特別地域の範囲**  
白山の主峰部を中心とした白山山系をしっかりと望むことができる白山山頂を中心とした**左右15°**として設定

# 【石川県】 県土全域の景観形成の指針の策定

## 取組の背景

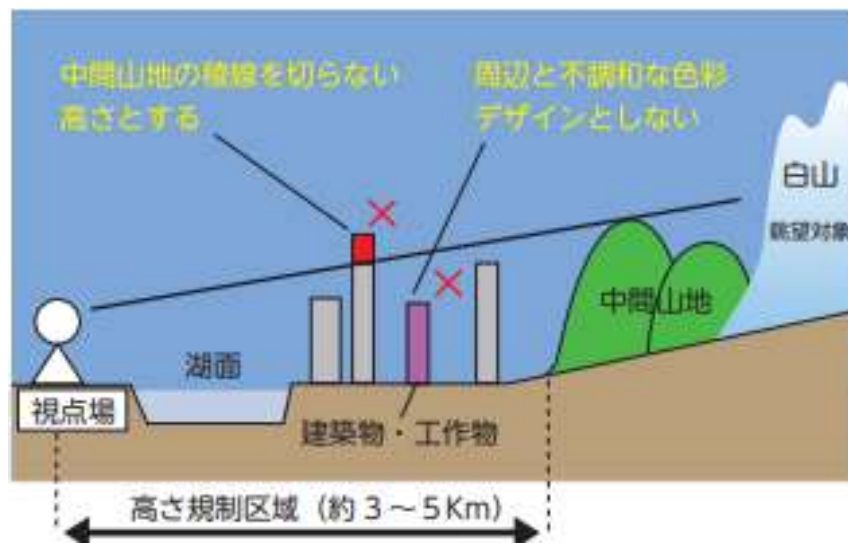
### 景観法による制度の活用が困難

- ・ 景観行政団体となった市町村区域においては、県が景観計画を策定することはできず、景観計画の手法では市町村をまたぐ広域の範囲の規制が困難であった。
- ・ そのため、独自条例による眺望計画の策定に至った背景がある。

### 都市計画区域外における規制の必要性

- ・ また、高さ規制を設定する特別区域の一部において都市計画区域外の区域が含まれており、高度地区を用いた高さ制限ができなかったことから、現行の法制度による規制が困難であった。

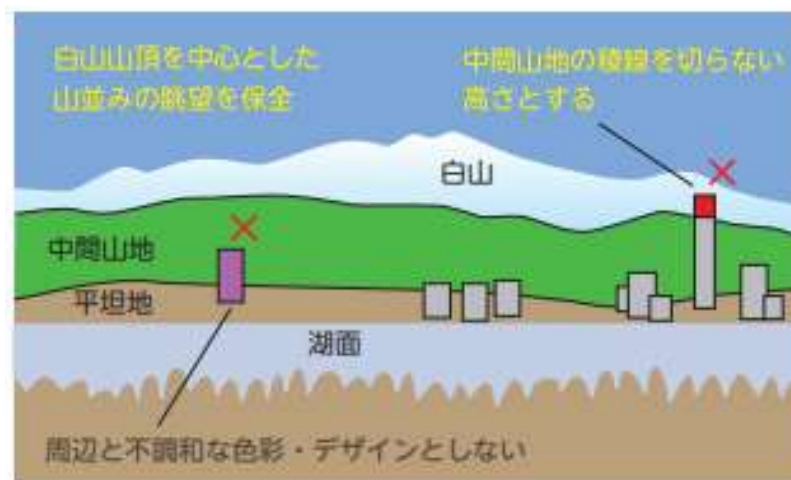
### ■建築物の高さや形態意匠の規制のイメージ



## 取組の効果

### 眺望を阻害する建築物等の抑制

- ・ 白山や七尾湾の眺望を保全するため、遊歩道などの視点場に加え、新幹線の車窓も視点場として「眺望景観保全地域」や「特別地域」を指定し、届出対象行為を定めるとともに、周辺景観への配慮基準のほか、建築物等の高さや外観の色彩の数値基準を設けることで、眺望を阻害する建築物等の立地が抑制され、優れた景観の保全が図られている。



(参考) いしかわ景観総合条例パンフレット、白山眺望景観保全地域パンフレット